

# ブックカフェ ！！ノ テラチ

第十回 花鳥画と博物学

2016年10月14日(金) 16:30 - 18:00

語り手 鎌田純子先生  
帝京大学文学部史学科 講師

種書 江戸の花鳥画 博物学をめぐる文化とその表象  
今橋理子 著 (スカイドア 1995)

江戸時代、儒学者や医師、本草学者の間で博物学が大流行しました。その動向はやがて名家や大名たちにも広がり庶民階級も巻き込んでいきました。彼らは博物図鑑の制作や珍品・奇品を見せ合う会に余暇を使いました。こうした博物学ブームは当時の絵画にどのような影響を与えたのでしょうか。近世絵画史をご専門の鎌田純子先生をお招きし、花鳥画と博物学の相関関係をご解説頂きます。博物学の隆盛と江戸絵画の変遷という2つ歴史を重ねることで見える世界をお楽しみください。

▼定員

15名

どなたでもご参加いただけます

▼場所

帝京大学八王子キャンパス  
ソラティオスクエア3階 アカデミックラウンジ

▼アクセス

京王線「聖蹟桜ヶ丘駅」からバス(桜87)で13分  
京王線「高幡不動駅」からバス(高23)で10分  
京王相模原線「京王多摩センター駅」からバス(多4)で14分  
小田急多摩線「小田急多摩センター駅」からバス(多4)で14分  
京王バス「帝京大学構内」停留所すぐ

▼お申し込み方法

bookcafe.terachi@gmail.com まで  
お名前/ご連絡先/ご所属をお送りください  
(当日参加もできます)

企画: 山田淳史 (慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科修士課程1年) 責任者: 森玲奈 (帝京大学高等教育開発センター講師)

本ワークショップは、<ラーニングフルエイジング>プロジェクト(代表: 森玲奈)の一環として開催します。HP: <http://learningful-ageing.jp/> Facebook: <https://www.facebook.com/learningful.aging>

ブックカフェ

# テラチ

「ブックカフェテラチ」は、毎月一回九十分だけ開店する見世(みせ)でありながら、そのとき的时候や時事に合わせてお選びした本と、そこから生まれる会話を楽しむ催しでございます。一冊の本を存分に味わって頂くために、当店では「講義」と「談義」の二種のプログラムをご用意致しました。

前半の「講義」では、大学教員をゲストに招いた三十分のトークライブを行い、一冊の本を読み解きます。

後半の「談義」では、トークの内容を深め、新しい理解を進めるために、参加者の皆様と言葉を交えます。

聴くもよし、話すもよし、「テラチ」では会話が向かうとする『その道中』をお楽しみください。

実をいいますと、てらちの『ち』は道の意味する言葉です。古代日本語において『ち(路)』という言葉は、みち(道)を意味しておりました。てらちには『照らす道』という意味を込め、この店名を名づけました。道草が太陽に照らされ萌え出するように、一冊の本から芽吹く会話をお楽しみ頂ければ幸いです。